

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.233
2025. 9. 30

特集

第4回 南山大学
「人間の尊厳賞」



南山大学「人間の尊厳賞」表彰式・記念講演会



NANZAN
UNIVERSITY



第4回南山大学 「人間の尊厳賞」 国際カリタスが受賞

本学の卒業生、
国際カリタス総裁 菊地功大司教に
ご講演いただきました



講演者 プロフィール
菊地 功 大司教 (国際カリタス総裁)

- 1958年 11月1日 岩手県宮古市生まれ
- 1983年 南山大学文学部神学科卒業
- 1986年 南山大学大学院神学修士
司祭叙階(神言修道会)
- 2004年 新潟教区司教に任命
司教叙階
- 2017年 東京教区大司教に任命・着座
- 2022年 日本カトリック司教協議会会長 就任
- 2023年 国際カリタス総裁に選出・就任
- 2024年 12月7日 枢機卿に叙任
- 2025年 5月 教皇選挙に出席



菊地功大司教

南山大学の理念を実現する 賞の創設

南山大学は2021年に迎えた創立75周年の記念事業の一つとして、南山大学「人間の尊厳賞」を創設しました。この賞は、自らの尊厳と他者の尊厳を認め、一人ひとりをかけがえない存在として、本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」の実現にむけて多大な貢献をしている個人・団体から、毎年1名または1団体を表彰するものです。受賞者決定には、学内選考を経て、学長および学外有識者からなる選考委員会にて最終選考を行います。

第4回の受賞者を決定

選考の結果、第4回受賞者は、国際カリタスに決定しました。国際カリタスは1951年に教皇ピオ12世によって認可を受け設立された非政府組織(NGO)で、ローマに本部を置いています。現在160カ国200以上の組織が、カトリックの信仰に基づき、開発途上国を中心に災害や戦争、貧困、迫害などにより困



難な状況に置かれている人々に対し、人種や宗教を問わず支援活動を行っています。日本においても、1970年に設立されたカリタスジャパンを通じて、東日本大震災や能登半島地震などの災害支援を迅速かつ継続的に実施しています。

表彰式、記念講演会を举行

第4回表彰式・記念講演会は、2025年6月7日に、南山大学フラッテンホールにて開催しました。来賓、学生、教職員、250名近くの一般参加者の方々が出席し、盛大に式を挙行了しました。

表彰式では、学長式辞の後、キサラ学長より国際カリタス総裁の菊地大司教に表彰盾が授与されました。続いて、本賞に後援いただいている南山大学同窓会の松岳大樹会長より副賞賞金の目録が手渡されました。表彰式に続いて、記念講演会では、菊地大司教にご講演いただきました。講演テーマは「混乱の時代に助け合う命」。要旨を以下に記します。

講演要旨

国際カリタスとは、世界で2番目に大きな民間の国際NGO組織で、1951年に教皇ピオ12世によって正式に認可され、現在は162の地域と国にあるカリタスがメンバーとして参加している慈善団体の連盟組織です。それぞれの国のカリタスは、司教さんのやりたい人道支援に取り組むために各々独自性を持っており、我々の仕事はその調整役です。また、平和の実現を目指して、世界の様々な国の政府に働きかけるといった活動にも取り組んでいます。

国際カリタスの大きな特徴として、「災害が起こる前から教会がそこにあり、災害の時にもそこにあり、災害が終わった後もそこにある」ということが挙げられます。カリタスとはキリスト教を信じていれば必ず行うであろう「愛の行動」をするための団体であり、教会がある限りそこにカリタスは存在しているのです。

いろいろなNGOが世の中に存在していますが、食料支援などの「直接的な手助け」と、よりよい環境を生み出す術を見つけるための「長期的な手助け」があります。直接的な手助けは良い事ですが、範囲が限定的で、時間で考えても短期的なもの

でしかなく、もう一つは広範囲で長期的。分かりやすく例えると、ウルトラマンとドラえもんなんですよ。ウルトラマンは怪獣が出てきたら現れて、3分間大暴れして、怪獣を倒したらすぐに帰る。これが前者の「直接的な手助け」です。一方ドラえもんは、のび太君とずっと一緒にいて、問題が起こる度に手助けをし、なんとか生活を改善しようとしてくれる。後者の「長期的な手助け」がこれにあたるわけです。ウルトラマンとドラえもん、どちらを目指すのかということですが、国際カリタスは両方をしっかりとできるNGOでありたいと考えています。

私は1986年に南山大学の大学院を卒業し、そのままカトリックの神父になりました。そして派遣されたのが、西アフリカのガーナです。電気も水道もなく、病気で多くの人が亡くなってしまような過酷な環境でしたが、みんな笑顔で生活していました。なぜかという、彼らは「困っていたら誰かが手を差し伸べてくれる」と信じているんですね。この「誰かが助けてくれる」という確信が生きて希望を生み出すんだということを、彼らの笑顔を見てつくづく感じました。衣食住を与えることはできても、希望を持って行って「はい、どうぞ」と渡すことはできま

せん。希望はその人の心の中から生み出されてこなくてはいけない——我々はその手伝いがしたいのです。

カリタスで働き始めた頃、ある難民キャンプのリーダーに必要なものを尋ね、返ってきた言葉にショックを受けたことがあります。「日本に帰ったら、俺たちがまだここにいることを伝えてくれ」。この言葉を聞いた時、人は忘れ去られることで生きる希望を失うんだと痛感しました。東日本大震災や、おそらく今の能登も同じでしょう。現場に赴き、いろいろな人に会う度に「もう私たちは忘れられてしまった」と言われてきました。先ほど申しましたように、カリタスが常にそこに居る団体でありたいと思う一番の理由は、一緒にいることで「あなたのことを心配しているよ」と伝えたいのです。お金や物資の支援も大切ですが、それ以上に大切な希望を生み出すことができる団体であり続けたいと願っています。



キサラ学長



松岳同窓会長から目録を授与



司会を務めた人文学部4年
飯田和奏さん

取材後記

当日、菊地大司教は黒のスーツ姿で登場されました。式典への敬意が込められたシックな装いは、落ち着いた雰囲気の中にも芯のある存在感を放っていました。

式典には同窓生の姿も多く見られ、懐かしい再会に会場のあちこちで笑顔がこぼれていました。大学関係者との懇親会では名古屋の名物料理に舌鼓を打ちながら、菊地大司教は終始朗らかな笑顔とフランクな話しぶりで場を和ませ、自然体で接して下さる姿が印象的でした。厳粛な空気にやさしく寄り添うような振る舞いで、周囲の人々の緊張を解いてくださり、厳かなながらも笑顔の溢れる1日になりました。



当日の様子はこちらからご覧いただけます



第66回 上南戦

総合準優勝!

総合成績 13勝19敗

7月4日～7月6日、第66回上南戦が行われました。スローガン“ALL NANZAN ALL WIN”のもと、上智大学で戦った今年の上南戦。結果は13勝19敗と惜しくも総合準優勝でした。「今年度の上南戦こそは南山大学単独総合優勝」という思いは果たせませんでした。本学の部活動が一つのチームとして結束を高め、総合優勝を目標に最善を尽くした、熱い3日間となりました。

応援にお越しいただいた皆様、ありがとうございました! 来年は本学でのホーム開催です。

上南戦とはカトリック修道会を設立母体とする上智大学と南山大学のスポーツ対抗戦で、毎年両校体育会団体が数十種類の競技を行い総合成績で勝ったほうが優勝となります。1960年の第1回大会より半世紀以上続く、伝統の一戦です。

第1回大会からの通算成績
南山17勝 上智41勝 引分6



フェンシング	オープン競技
硬式野球	南山 7 - 8 上智
洋弓(男子)	南山 3332 - 3590 上智
洋弓(女子)	南山 2823 - 3328 上智
柔道	南山 2 - 5 上智
空手道	オープン競技
アメリカンフットボール	南山 0 - 52 上智
ゴルフ	南山 0 - 6 上智
陸上競技	南山 140 - 116 上智
サッカー	南山 3 - 3 上智
ラグビー	南山 27 - 29 上智
ラクロス(女子)	南山 14 - 8 上智
ラクロス(男子)	南山 10 - 8 上智
硬式庭球(女子)	南山 2 - 1 上智
バスケットボール(女子)	南山 44 - 86 上智
バスケットボール(男子)	南山 51 - 65 上智
アイスホッケー	南山 1 - 13 上智
ヨット	オープン競技



ラクロス
女子14-8、男子10-8でともに勝利!
男子は昨年のリベンジを果たしました。

バレーボール
女子3-1、男子3-0でともに勝利!
昨年に引き続き2連勝。

ラグビー
最後の1プレイまで粘りを見せましたが、
27-29で上智大学の勝利。

上智大学フューリング愛好会と南山大学経営学部による合同演奏
文化系団体の交流も行われました。

Special Events

2025.6.18

「南山チャレンジプロジェクト」の採択通知授与式

6月18日、2025年度「南山チャレンジプロジェクト」の採択通知授与式を行いました。「南山チャレンジプロジェクト」は、学生による学内に活性化する企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。

2025年度南山チャレンジプロジェクト採択団体



人と未来をつなぐ取り組み

Nanzan AID

Nanzan AIDは、サードプレイスを提供するmachikoyaと連携し、地域との持続的な関係づくりを目指すproject SETOという企画を行います。それに伴い瀬戸市の招き猫祭りや神輿担ぎや、瀬戸物祭りでのワークショップの来店などを通して地域の伝統文化と学生の交流を促進します。



人と未来をつなぐ取り組み

PE project

こんにちは! 私たちは留学生と中学生が交流できる場所づくりをしています。10月ごろには中学生と留学生、PEメンバー全員でジブリパークを訪れて異文化交流ができる機会を設けようと考えています。中学生向けイベントや季節のイベントも企画し、国際交流ができるイベントを実行する予定です!

2025.6.23-7.12

Nanzan Anime Study Tour

6月23日から7月12日に「Nanzan Anime Study Tour」を開催し、アメリカやシンガポールなど、世界各国から15名の学生が参加しました。Nanzan Anime Study Tourは2023年度から実施している留学生短期受け入れ事業です。使用言語は英語で、参加学生は、講義やディスカッション、3度のフィールドトリップなどを通して、アニメを切り口に日本文化や社会を学びました。また、アニメが好きな本学学生「Anime Study Buddy」19名もこのプログラムに携わりました。Anime Study Buddyが同じアニメ好きとして参加学生と交流し、日本の生活や文化を紹介することで、参加学生の学びがより深いものになりました。



2025.8.4-8.6

夏休み水泳教室

8月4日から8月6日までの3日間、南山大学室内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を開催しました。この教室は、小・中学生を対象に本学水泳部の学生が泳ぎ方を教える毎年人気の教室で、今年は75名の方にご参加いただきました。3種類のコースから希望コースを選択して泳力別に分けられたグループごとに練習を行い、たくさんの受講者の方に水泳を楽しんでいただきました。



2025.7.19-7.20, 8.5

オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、7月19日、20日にキャンパスへ来場する大学開催型と、8月5日に学外から参加するオンライン開催型を開催しました。6月20日から特設ページを開設し、入試概要、留学制度、就職・キャリアサポート、各学部紹介など動画による大学紹介を行いました。7月19日、20日は、各学科の教員による模擬授業や学部の学び、入試、奨学金、留学、就職などについての個別相談をはじめ、学科・学生企画やキャンパスツアーを実施しました。どの企画も盛況で、2日間で10,000人を超える方にご参加いただきました。



▲オープンキャンパスの様子

2025.8.5-8.28

小・中学生向け講座 「大学で、未来の自分を探してみよう!」

8月5日から8月28日にかけて、南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)・中学生を対象とした8講座を開講しました。小学生(4~6年生)対象講座は、4講座で合わせて109名が参加、中学生対象講座は4講座で合わせて98名が参加し、各々の講座で楽しく学んでいました。



2025.7.21 南山ゆかたフェス

7月21日、2025年度南山ゆかたフェスが開催されました。ゆかたフェスは、2017年から毎年開催しているイベントで、浴衣を着て大学で一日過ごすことで、学生・教職員同士の交流、日本文化の発信を目的としています。当日は、多くの浴衣姿の学生、教職員が見られ、南山ゆかたフェス実行委員会によるラムネの販売や縁日イベントも行われました。



「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」授与式

「南山大学国際教養学部・株式会社極東精機給付奨学金」は、株式会社極東精機様からのご支援を原資とし、国際教養学部で学ぶ東南アジアおよび南西アジア諸国いずれかの国の国籍を有する学生に対し給付する奨学金です。母国を離れて日々懸命に学ぶ外国人学生の学業達成を援助し、学生の母国と日本との友好・親善に貢献する有為の人材を育成することを目的とし、2022年度に創設されました。

今年度は4月30日に授与式を開催し、3名の学生が採用されました。森泉学部長から奨学金についての説明を受けた後、採用通知書が手渡されました。



▲授与式での様子



▲後列左から 神崎学科長、森泉学部長、安原教授
前列左から GHIMIRE Swikritiさん、
TAMANG Rabinさん、LEE Kasumiさん

本学法務研究科の学生が「みずほ学術振興財団 第66回懸賞論文(法律の部)」自由論題で3等を受賞

法務研究科1年毛利英暉さん(応募当時=法学部法律学科4年)が執筆した論文「法的能力の普遍的承認と変容を迫られる伝統的法律行為論」が、「みずほ学術振興財団 第66回懸賞論文(法律の部)」自由論題で3等を受賞しました。

みずほ学術振興財団は、日本の未来を担う若い世代を対象に、学術研究の奨励・支援を目的として、法律・経済分野で懸賞論文を募集し、入選者に学術奨励金を贈呈しており、毛利さんは昨年度に続き2年連続の受賞となります。



▲みずほ学術振興財団
第66回懸賞論文入選者表彰式にて

科学研究費助成事業(科研費)新規採択率で本学が全国第19位(私立大学で第9位)にランクインしました

文部科学省より公表された「令和7年度科学研究費助成事業の配分について」のうち、「研究者が所属する研究機関別採択率上位30機関(令和7年度 新規採択)」において、本学が全ての研究機関の中で19位、私立大学で第9位となりました。本学の採択率は39.7%で、申請数68件のうち27件が採択されました。



理工学部の学生が、「第14回全日本インラインフリースタイル選手権大会」にて好成績をおさめ、日本代表に選出

6月21日、22日に埼玉県さいたま市で開催された「第14回全日本インラインフリースタイル選手権大会」に理工学部機械システム工学科4年小林慈佑さん、電子情報工学科4年小林慈怜さん兄弟が出場し、好成績をおさめました。また、7月20日から韓国で開催された「第20回アジアローラースケート選手権大会」に日本代表として出場し、ベアクラシックスラロームでは6位に入賞しました。



法学部の学生が、日本代表として「第13回アジアユースネットボール選手権大会」に出場し、Plate division 3位となり銅メダルを獲得

法学部2年の大島絢佳さんが、6月27日～7月4日に韓国・全州市で開催された「第13回アジアユースネットボール選手権大会」に、21歳以下の日本代表チーム「つばきJAPAN」の一員として出場しました。

「つばきJAPAN」はPlate division 3位という素晴らしい成績をおさめました。



総合政策学部の学生が、「チャレンジ金山アイデアソン2025」にて最優秀賞を受賞

6月28日に開催された「チャレンジ金山アイデアソン2025」に総合政策学部4年神野真央さんが参加し、最優秀賞を受賞しました。

「チャレンジ金山アイデアソン2025」は、名古屋・金山エリアについて若い世代がアイデアを出し合って魅力的なまちづくりを考えるイベントで、神野さんは名古屋工業大学の学生とチームを組み、「日常にハレの場をつくる～金山の移動式レンタルDJブース～」を提案しました。



長野清泉女学院中学・高等学校との中高大連携に関する協定締結式を開催

7月24日に、長野清泉女学院中学・高等学校との中高大連携に関する包括協定締結式を行いました。

このたびの包括協定締結により、カトリックの教育理念のさらなる深化を図るべく、相互の教職員・学生・生徒の交流・連携を通じて、より魅力ある大学・中学高校づくりを推進することを目的とする中高大連携事業を実施します。宗教またはキリスト教に対する知識を深めることや生徒の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めることを目的とした教育的取組を展開していきます。



▲左：長野清泉女学院中学・高等学校 大年邦夫校長 右：ロバート・キサラ学長

Special Events Schedule

2025.11.1-11.3

大学祭「南山祭」

11月1日(土)から11月3日(月)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「葉(しおり)」。

このテーマには「これからの人生を振り返ったときに、今年度の学祭が思い出を彩る一つの葉になるように」という思いが込められています。

課外活動団体によるステージ企画や模擬店、ゼミによる活動内容の展示・発表などさまざまな企画をご用意しております。



▲昨年の南山祭の様子

2025.10.26

受験生と保護者のための入試説明会

10月26日(日)「受験生と保護者のための入試説明会」を開催します。これは、本学の一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試の受験予定者を対象としたイベントで、当日は入試説明や、個別相談などを実施予定です。また、一部企画はオンラインで参加いただくことも可能です。

詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。

「受験生の皆様」Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>



キャリア支援課プログラム紹介

全学年を対象にテーマ別ワークショップを実施します!

10月～12月にかけてテーマ別ワークショップ④⑤⑥を開催します。7月に実施した「①異業種5社セミナー」「②物流業界理解セミナー」「③マスコミ対策セミナー」では、多くの企業の人事担当者にお越しいただき、参加学生は業界の理解を深めました。10月以降のテーマ別ワークショップにおいても、企業や外部から講師をお招きし、業界理解や選考対策についてお話を聞きます。希望進路の実現に向け、「今」何をすべきか学び、視野を拡げてみましょう。気になるテーマがありましたらぜひお気軽に参加してください。

〈実施予定のプログラム〉

10月2日(木)	5限	④エアライン対策セミナー
12月4日(木)	5限	⑤トヨタ系列対策セミナー
12月17日(水)	4限	⑥専門商社理解セミナー

※申込方法等の詳細は、今後PORTAIにて公開予定です。

第3クォーター以降のキャリア支援課プログラム紹介

就職支援プログラム(2027年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	先輩の体験談、秋学期のスケジュールの確認など
10月	就職対策講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解・自己PR」 「志望動機」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
10月～11月	エントリーシート対策	ES対策講座・添削道場
11月～12月	学内企業説明会 (業界・仕事研究)	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。
12月	面接対策	グループ面接ワークショップ
12月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座
2月	学内企業説明会(本選考直前) [2024年度実績:文系・理系204社]	南山大生を対象とした企業説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、UIターンガイダンスや就活×留学コラボイベントを実施します。
※就職相談は随時受け付けています。

キャリア面談のご案内

キャリア支援課では、キャリアサポートの一環として全学年の学生を対象にキャリア面談(予約制)を実施しております。今後のキャリア形成において、進路で迷った時や就職活動で困ったことなどがあれば、気軽にキャリア面談を利用してください。経験豊富なキャリアカウンセラーやスタッフが、疑問や不安と一緒に解消します。

卒業後の進路が決まった学生の皆様 「進路届」提出のお願い

卒業後の進路が決まった皆様へ「進路届」の提出をお願いしています。PORTAのアンケートもしくはキャリア支援課窓口にて「進路届」を提出してください。
※ここでいう進路とは、就職/大学院・他大学への進学/一時的な仕事(非常勤講師、アルバイトなど)/その他(専門学校、教員・公務員・資格試験などの再受験、留学、就職活動の継続)など全ての進路が含まれます。

2024年度決算・2025年度予算について

2025年度の「学長方針」では、以前から掲げてきた「地球規模の関心、私たちの貢献」、および2024年より掲げた3Ds(Dignity, Diversity, Dialogue)の実践を通して、20年後の2046年に迎える大学創立100周年に向けた改革を続けていくこととしています。2024年度は充実した教育・研究および課外活動を持続的に発展させるため、新たな寄附事業である「『ほまれはここに我が南山』学生応援募金事業」の創設や、アセスメントテストの部分的な導入を行うな

2024年度決算について

第1表は資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。(以下、予算額は補正予算額を指す)

収入の部では、補助金収入が予算額に対して109百万円増加となりました。これは、教育の質に係る客観的指標等を意識し、アセスメントテストの部分的導入など教育の質向上への施策を全学的に取り組んだ結果、補助金の獲得に繋がったことが挙げられます。

支出の部は、教育研究経費支出が予算額に対して274百万円の減少と変動が大きくなっていますが、例年この支出は決算時において、一定程度改善することに加え、日々の支出抑制に努めたことも成果として現れたと考えております。

なお、例年南山学園の設立母体である神言修道会から、本学に勤務する神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援がなされています。2024年度は総額14百万円弱の援助があり、競争的学内研究費であるパッへ研究奨励金の原資として充当しました。

第2表の活動区分資金収支計算書は、教育、施設整備等、その他の3つの活動区分毎に資金収支を見ることができるようにした計算書です。教育活動資金収支は、学生生徒等納付金・補助金・寄付金などの収入と人件費・教育研究経費支出など、本来の学校教育活動に係る収入・支出です。第2表を見ていただくと、教育活動資金収支は2,841百万円の収入超過となっています。施設整備等活動資金収支は、930百万円の支出超過となっています。これは、施設関係支出(96百万円)および設備関係支出(226百万円)で、Q棟、リアン棟等の無

第1表 2024年度 資金収支計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	10,800,662	10,791,094	9,568
手数料収入	666,365	678,210	△ 11,845
寄付金収入	190,244	194,154	△ 3,910
補助金収入	1,280,412	1,389,891	△ 109,479
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	255,659	248,449	7,210
受取利息・配当金収入	135,531	152,280	△ 16,749
雑収入	382,056	387,199	△ 5,143
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,129,725	2,308,697	△ 178,972
その他の収入	2,367,298	2,386,283	△ 18,985
資金収入調整勘定	△ 2,529,499	△ 2,543,718	14,219
当期収入合計	15,678,453	15,992,539	△ 314,086
前年度繰越支払資金	34,600,930	34,600,930	0
収入の部合計	50,279,383	50,593,469	△ 314,086

支出の部			
科 目	予算額	決算額	差異
人件費支出 (退職金支出)	7,186,647	7,007,669	178,978
教育研究経費支出	3,317,680	3,043,823	273,857
管理経費支出	790,857	703,933	86,924
借入金等利息支出	43,716	43,714	2
借入金等返済支出	482,750	482,750	0
施設関係支出	100,068	96,337	3,731
設備関係支出	244,151	225,667	18,484
資産運用支出	500,007	500,006	1
その他の支出	2,618,924	2,631,670	△ 12,746
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 315,952	△ 271,864	△ 44,088
法人本部費配賦額	541,841	545,544	△ 3,703
当期支出合計	15,510,689	15,009,249	501,440
翌年度繰越支払資金	34,768,694	35,584,221	△ 815,527
支出の部合計	50,279,383	50,593,469	△ 314,086

ど、多くの事業に取り組んできました。

本学では、「NANZAN BULLETIN」「南山大学概要」「南山大学公式Webページ」において財政状況を公開し、透明性の確保に努めています。今回は、2024年度決算および2025年度予算の概要について、財務諸表をもとに説明させていただきます。

線LANサービスの更新等やL棟トイレ改修工事等の施設設備工事への支払分と減価償却引当特定資産繰入支出(500百万円)を計上したためです。ただし、減価償却引当特定資産への繰入は将来の校舎等整備に向け特定資産へ計画的に繰入を行っているもので、実際に支払が生じているわけではありません。その

第2表 2024年度 活動区分資金収支計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
教育活動資金収支			
学生生徒等納付金収入	10,800,662	10,791,094	9,568
手数料収入	666,365	678,210	△ 11,845
特別寄付金収入	189,804	193,087	△ 3,283
一般寄付金収入	440	1,067	△ 627
経常費等補助金収入	1,276,402	1,385,881	△ 109,479
付随事業収入	255,659	248,449	7,210
雑収入	382,010	387,044	△ 5,034
教育活動資金収入計	13,571,342	13,684,832	△ 113,490
人件費支出	7,186,647	7,007,669	178,978
教育研究経費支出	3,317,680	3,043,823	273,857
管理経費支出	789,559	702,636	86,923
教育活動資金支出計	11,293,886	10,754,128	539,758
差引	2,277,456	2,930,704	△ 653,248
調整勘定等	△ 213,420	△ 89,424	△ 123,996
教育活動資金収支差額	2,064,036	2,841,281	△ 777,245
施設整備等活動資金収支			
施設設備補助金収入	4,010	4,010	0
施設整備等活動資金収入計	4,010	4,010	0
施設関係支出	100,068	96,337	3,731
設備関係支出	244,151	225,667	18,484
減価償却引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	0
施設整備等活動資金支出計	844,219	822,004	22,215
差引	△ 840,209	△ 817,994	△ 22,215
調整勘定等	△ 112,403	△ 112,091	△ 312
施設整備等活動資金収支差額	△ 952,612	△ 930,085	△ 22,527
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,111,424	1,911,196	△ 799,772
その他の活動資金収支			
イブ・ハツエ国際交流奨励金引当特定資産取崩収入	1,440	1,440	0
長期貸付金回収収入	16,676	16,535	141
短期貸付金回収収入	250	0	250
預り金受入収入	2,146,687	2,160,092	△ 13,405
貯蔵品売却収入	0	0	0
その他の収入	1,351	7,322	△ 5,971
小計	2,166,404	2,185,389	△ 18,985
受取利息・配当金収入	135,531	152,280	△ 16,749
過年度修正収入	46	155	△ 109
その他の活動資金収入計	2,301,981	2,337,824	△ 35,843
借入金等返済支出	482,750	482,750	0
イブ・ハツエ国際交流奨励金引当特定資産繰入支出	7	6	1
長期貸付金支払支出	37,100	31,600	5,500
短期貸付金支払支出	1,750	0	1,750
預り金支払支出	2,136,129	2,153,714	△ 17,585
その他の支出	1,050	7,104	△ 6,054
小計	2,658,786	2,675,175	△ 16,389
借入金等利息支出	43,716	43,714	2
過年度修正支出	1,298	1,296	2
その他の活動資金支出計	2,703,800	2,720,185	△ 16,385
差引	△ 401,819	△ 382,361	△ 19,458
調整勘定等	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 401,819	△ 382,361	△ 19,458
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	541,841	545,544	△ 3,703
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	167,764	983,290	△ 815,526
前年度繰越支払資金	34,600,930	34,600,930	0
翌年度繰越支払資金	34,768,694	35,584,221	△ 815,527

他の活動資金収支は382百万円の支出超過となっており、単位間貸借である法人本部費配賦額546百万円の支出を含め、南山大学全体では983百万円の資金増加となっています。

第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顛末を表しているのに対し、第3表の事業活動収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを見るための収支状況を表しています。第3表は第2表同様に3つの活動区分に分かれており、それぞれの区分毎の収支状況を見ることができます。この3つの活動区分のうち、特別収支を除く、教育活動収支と教育活動外収支の合計である経常収支により、本来の教育研究活動の収支状況を見ることができ、経常収支差額は1,614百万円の収入超過となりました。経常収支差額と特別収支の合計額である基本金組入前当年度収支差額から2024年度実施の施設設備工事への支払分と過去のキャンパス整備事業(建物等取得)で生じた借入金の2024年度返済分を合計した620百万円を基本金として組入れを行い、結果として当年度収支差額は453百万円の収入超過となりました。

第4表の貸借対照表は、年度末時点における資産、負債、純資産(基本金+繰越収支差額)の状態を表しています。資産の部では、固定資産のうち有形固定資産について、近年のキャンパス整備事業により取得した固定資産の減価償却額が大きく、全体としては減少となっています。しかし、活動区分資金収支計算

第3表 2024年度 事業活動収支計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
教育活動収支			
事業活動収入			
学生生徒等納付金	10,800,662	10,791,094	9,568
手数料	666,365	678,210	△ 11,845
寄付金	193,744	202,129	△ 8,385
経常費等補助金	1,276,402	1,385,881	△ 109,479
付随事業収入	255,659	248,449	7,210
雑収入	382,047	387,080	△ 5,033
教育活動収入計	13,574,879	13,692,844	△ 117,965
事業活動支出			
人件費 (退職給与引当金繰入額)	7,218,281 (449,259)	7,043,154 (471,180)	175,127 (△ 21,921)
教育研究経費 (減価償却額)	4,537,831 (1,216,651)	4,268,311 (1,216,650)	269,520 (1)
管理経費 (減価償却額)	962,117 (172,558)	875,012 (172,557)	87,105 (1)
徴収不能額等	0	727	△ 727
教育活動支出計	12,718,229	12,187,204	531,025
教育活動収支差額	856,650	1,505,639	△ 648,989
事業活動収入事業活動支出			
受取利息・配当金	135,531	152,280	△ 16,749
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	135,531	152,280	△ 16,749
借入金等利息	43,716	43,714	2
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	43,716	43,714	2
教育活動外収支差額	91,815	108,566	△ 16,751
経常収支差額	948,465	1,614,205	△ 665,740
特別収支			
事業活動収入			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入 (現物寄付) (施設設備補助金) (過年度修正額)	19,057 (15,001) (4,010) (46)	20,593 (16,428) (4,010) (155)	△ 1,536 (△ 1,427) (0) (△ 109)
特別収入計	19,057	20,593	△ 1,536
事業活動支出			
資産処分差額	28,591	28,589	2
その他の特別支出	1,324	1,395	△ 71
特別支出計	29,915	29,984	△ 69
特別収支差額	△ 10,858	△ 9,391	△ 1,467

予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	528,318	532,021	△ 3,703
基本金組入前当年度収支差額	409,289	1,072,793	△ 663,504
基本金組入額合計	△ 653,487	△ 619,982	△ 33,505
当年度収支差額	△ 244,198	452,811	△ 697,009
前年度繰越収支差額	5,380,910	5,380,910	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	5,136,712	5,833,721	△ 697,009

(参考)

事業活動収入計	13,729,467	13,865,717	△ 136,250
事業活動支出計 ^(e)	13,320,178	12,792,924	527,254

経常収入	13,710,410	13,845,124	△ 134,714
経常支出	12,761,945	12,230,919	531,026

(※)法人本部費配賦額を含む。

書の項目で説明したとおり、減価償却引当特定資産へ計上した500百万円と現預金の増加分983百万円によって、資産全体として576百万円の増加となりました。負債の部は、長期借入金返済により長期借入金は前年度末より減少しております。

本学における収入構造を財務比率から見ると、第5表が示す通り、2024年度決算では学生生徒等納付金比率77.9%、補助金比率10.0%となっており、学生生徒等納付金と補助金が収入の大部分を占めています。一方で、支出の部では、人件費、教育研究経費、管理経費が主な項目ですが、教育研究経費比率が全国平均に比べて低いことが本学の課題となっています。今後は、適正予算配分を意識し、教育研究活動の更なる充実に向けて取り組んでまいります。

第4表 貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2024年度末	2023年度末	増減
固定資産	37,885,893	38,438,176	△ 552,283
有形固定資産	34,947,656	36,024,565	△ 1,076,909
土地	9,197,414	9,197,414	0
建物	18,112,297	18,995,776	△ 883,479
構築物	973,582	1,158,538	△ 184,956
教育研究用機器備品	760,628	787,507	△ 26,879
管理用機器備品	42,003	47,268	△ 5,265
図書	5,858,733	5,835,063	23,670
建設仮勘定	2,999	2,999	0
特定資産	2,788,628	2,290,062	498,566
退職給与引当特定資産	140,000	140,000	0
減価償却引当特定資産	1,920,000	1,420,000	500,000
南山大学短期留学期奨学金引当特定資産	200,000	200,000	0
南山大学施設設備拡充引当特定資産	400,000	400,000	0
イブ・ハツエ国際交流奨励金引当特定資産	14,448	15,882	△ 1,434
学生緊急支援引当特定資産	114,180	114,180	0
その他の固定資産	149,609	123,549	26,060
電話加入権	5,297	5,297	0
施設利用権	4,339	4,339	0
長期貸付金	55,330	40,265	15,065
差入保証金	70,200	70,200	0
ソフトウェア	14,443	3,449	10,994
流動資産	36,031,533	34,903,599	1,127,934
現金預金	35,584,221	34,600,930	983,291
未収入金	331,040	201,716	129,324
貯蔵品	12,058	11,740	318
立替金	84	301	△ 217
前払金	104,131	88,911	15,220
資産の部合計	73,917,426 </		

2025年度予算について

2025年度予算でも教育・研究および課外活動の発展に向け、様々な事業計画を予算化しております。

2025年度の主な事業計画は以下のとおりです。

1. 無線LANサービスの設備更新事業

B棟、D棟、G30棟、H棟、N棟、第2研究室棟等を中心に教育・研究活動の快適な環境構築に向けて無線LANサービスの設備更新を行います。

2. 体育館空調新設工事

体育授業、課外活動、入学式、卒業式等での各種行事において、快適な利用および熱中症への対策として体育館への空調設置工事を行います。

3. J棟トイレ改修工事

2018年度に名古屋キャンパスⅢ・Ⅳ期工事において、地下2階～地上2階を改修しましたが、3階以上は、1990年のJ棟建築から既に30年以上が

経過し、衛生設備の老朽化が起きている状況のため、トイレ改修工事を行います。

4. 学修成果可視化システムおよびアセスメントテストの全学導入

教学マネジメントの確立に向けた全学的整備の一環として、学習成果・教育成果の把握・可視化に向けて、学習成果可視化システムの全学的な導入を行います。

されている関係で、前年度繰越収支差額および前年度繰越支払資金が2024年度決算からの繰越額と一致していないことを申し添えさせていただきます。

本学では、私立大学としての公共性と説明責任を認識し、安定的な財政基盤の構築に努める所存です。どうかご理解、ご支援のほど、よろしくお願いたします。

(大学本部長 児玉 和典)

また、掲載しております財務諸表につきまして、2025年度予算が3月に決定

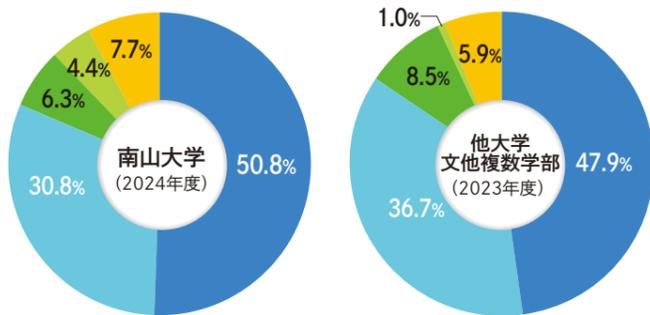
第5表 財務比率(注)

事業活動収支計算書関連

比率	計算式	南山大学			他大学	評価
		2022年度	2023年度	2024年度	2023年度	
人件費比率	人件費/経常収入	55.7%	50.5%	50.9%	48.3%	↓
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	70.4%	64.8%	65.3%	59.5%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	34.8%	31.3%	30.8%	37.0%	↑
管理経費比率	管理経費/経常収入	7.3%	6.4%	6.3%	8.6%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.4%	0.4%	0.3%	0.1%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	79.2%	78.0%	77.9%	81.3%	↑
補助金比率	補助金/事業活動収入	8.2%	9.7%	10.0%	10.8%	↑
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	6.6%	5.5%	4.5%	7.0%	↑
減価償却額比率	減価償却額/経常支出	11.4%	11.8%	11.4%	11.3%	～

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学	他大学文他複数学部
	2024年度	2023年度
人件費	50.8%	47.9%
教育研究経費	30.8%	36.7%
管理経費	6.3%	8.5%
その他の事業活動支出額	4.4%	1.0%
基本金組入額+当年度収支差額	7.7%	5.9%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2023年度	2024年度	2023年度	
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	84.7%	85.5%	88.6%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額/(総負債+純資産)	7.3%	7.9%	△16.9%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産/流動負債	863.5%	881.5%	268.5%	↑
減価償却比率 ^(※2)	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	50.6%	53.1%	130.4%	～
総負債比率	総負債/総資産	15.3%	14.5%	11.4%	↓
負債比率	総負債/純資産	18.1%	17.0%	12.9%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団令和6年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。

評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2 分子・分母とも図書を除く。

第6表 2025年度 資金収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部		予算額
科目		予算額
学生生徒等納付金収入		10,860,753
手数料収入		666,970
寄付金収入		201,344
補助金収入		1,276,402
資産売却収入		0
付随事業・収益事業収入		224,171
受取利息・配当金収入		127,599
雑収入		233,441
借入金等収入		0
前受金収入		2,173,653
その他の収入		2,477,012
資金収入調整勘定		△ 2,305,724
当期収入合計		15,935,621
前年度繰越支払資金		34,768,694
収入の部合計		50,704,315
支出の部		予算額
科目		予算額
人件費支出 (退職金支出)		7,188,990 (262,379)
教育研究経費支出		3,464,021
管理経費支出		797,308
借入金等利息支出		38,350
借入金等返済支出		482,750
施設関係支出		217,514
設備関係支出		281,152
資産運用支出		500,007
その他の支出		2,631,252
予備費		27,223
資金支出調整勘定		△ 334,814
法人本部費配賦額		495,545
当期支出合計		15,789,298
翌年度繰越支払資金		34,915,017
支出の部合計		50,704,315

第7表 2025年度 活動区分資金収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:千円)

科目		予算額
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	10,860,753
	手数料収入	666,970
	特別寄付金収入	201,044
	一般寄付金収入	300
	経常費等補助金収入	1,276,402
	付随事業収入	224,171
	雑収入	233,441
	教育活動資金収入計	13,463,081
	人件費支出	7,188,990
	教育研究経費支出	3,464,021
管理経費支出	797,307	
教育活動資金支出計	11,450,318	
差引	2,012,763	
調整勘定等	182,211	
教育活動資金収支差額	2,194,974	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
	その他の引当特定資産取崩収入	0
	施設整備等活動資金収入計	0
	施設関係支出	217,514
	設備関係支出	281,152
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
	その他の引当特定資産繰入支出	500,000
	施設整備等活動資金支出計	998,666
	差引	△ 998,666
調整勘定等	△ 102,434	
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,101,100	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,093,874	
その他の活動資金収支	借入金等収入	0
	長期貸付金回収収入	13,810
	短期貸付金回収収入	250
	預り金受入収入	2,143,084
	貯蔵品売却収入	0
	その他の収入	2,730
	小計	2,159,874
	受取利息・配当金収入	127,599
	その他の活動資金収入計	2,287,473
	借入金等返済支出	482,750
長期貸付金支払支出	0	
短期貸付金支払支出	0	
預り金支払支出	7	
その他の支出	2,191,148	
小計	2,673,905	
借入金等利息支出	38,351	
その他の活動資金支出計	2,712,256	
差引	△ 424,783	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 424,783	
予備費	27,223	
法人本部費配賦額	495,545	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	146,323	
前年度繰越支払資金	34,768,694	
翌年度繰越支払資金	34,915,017	

第8表 2025年度 事業活動収支予算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:千円)

科目		予算額	
教育活動収支	学生生徒等納付金	10,860,753	
	手数料	666,970	
	寄付金	204,844	
	経常費等補助金	1,276,402	
	付随事業収入	224,171	
	雑収入	233,478	
	教育活動収入計	13,466,618	
	人件費 (退職給与引当金繰入額)	7,165,165 (238,554)	
	(賞与引当金繰入額)	(388,531)	
	教育研究経費 (減価償却額)	4,694,006 (1,226,485)	
管理経費 (減価償却額)	969,344 (172,037)		
徴収不能額等	0		
教育活動支出計	12,828,515		
教育活動収支差額	638,103		
教育活動外収支	受取利息・配当金	127,599	
	その他の教育活動外収入	0	
	教育活動外収入計	127,599	
	借入金等利息	38,350	
	その他の教育活動外支出	0	
	教育活動外支出計	38,350	
	教育活動外収支差額	89,249	
	経常収支差額	727,352	
	特別収支	資産売却差額	0
		その他の特別収入 (現物寄付)	15,001 (15,001)
(施設設備補助金)		(0)	
(過年度修正額)		(0)	
特別収入計		15,001	
資産処分差額		10,001	
その他の特別支出		388,532	
特別支出計		398,533	
特別収支差額		△ 383,532	
予備費		27,223	
法人本部費配賦額	482,022		
基本金組入前当年度収支差額	△ 165,425		
基本金組入額合計	△ 1,068,367		
当年度収支差額	△ 1,233,792		
前年度繰越収支差額	5,136,712		
基本金取崩額	0		
翌年度繰越収支差額	3,902,920		
(参考)			
事業活動収入計	13,609,218		
事業活動支出計 ^(※)	13,774,643		
経常収入	13,594,217		
経常支出	12,866,865		

(※)法人本部費配賦額を含む。



2025.4.29

神言修道会のJohn A Szukalski氏(Asst Gen Secretary for Education, Rome)がアメリカから来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。
神言修道会の高等教育機関における学術交流の促進について意見交換があり、特にCOILによる連携の可能性について議論が交わされました。



▲左:キサラ学長
右:John A Szukalski氏

Information

友の会評議員会・総会

7月16日、ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会が開催されました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月1日現在の会員数は一般会員122名、法人会員102法人となっています。

総会では、(1)2024年度事業報告および決算報告、(2)役員の大改選(案)、(3)2025年度事業計画(案)および予算(案)、(4)会費の改定(案)および会則の改正(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金

を受給する外国人留学生および日本人の派遣留学奨学生も参加させていただき、大原康之会長より奨学生採用通知書が授与されました。

また、その後行われた懇親会の席において、奨学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/>

後援会定例評議員会

6月28日、フラッテンホールで南山大学後援会定例評議員会が開催されました。南山大学後援会は在学生の保護者によって組織されており、当日は理事・評議員にご就任の役員の皆様から151名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2024年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2025年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認され、2025年度は10月4日に第53回 南山大学教育

研究懇談会(旧:保護者の集い)を大学と共催することが決定されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される大橋享様に、キサラ学長から感謝状と記念盾が贈呈されました。新理事長には磯崎公一様が就任されました。



後援会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/>



後援会貸借対照表

2025年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	102,520,742	課外活動援助基金	51,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	9,612,075
合計	102,520,742	合計	102,520,742

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	47,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	0		
合計	51,724,604	合計	41,184,063

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2024年度決算	2025年度予算
収入の部		
前期繰越金	6,379,758	9,612,075
入会金	2,366,000	2,517,000
会費	185,600,000	192,420,000
合計	194,345,758	204,549,075
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	170,000,000	179,000,000
留学生支援活動援助費	(46,000,000)	(55,000,000)
教育研究図書援助費	(71,700,000)	(60,000,000)
履修関係費	(7,700,000)	(15,000,000)
広報活動援助費	(5,000,000)	(5,000,000)
課外活動援助費	(33,000,000)	(33,000,000)
就職指導活動費	(6,600,000)	(11,000,000)
後援会活動費	10,733,683	11,900,000
保護者の集い/教育研究懇談会	(1,871,487)	(2,200,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(6,801,370)	(7,500,000)
事務費	(860,826)	(1,000,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	9,612,075	9,249,075
合計	194,345,758	204,549,075

退職

2025年7月31日付

●保健センター 助教 伊藤 萌水

新任用 教員紹介

2025年9月1日付

●外国語学部 講師 今井 祥子

寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

松本 恭一様

宗教法人カトリック神言修道会

代表役員 サンティアゴ・エドガル・ジュニア・アラガス様

株式会社エヌ・イー・エス様

有限会社サンルミナス

代表取締役 伊藤 豪様

株式会社極東精機

代表取締役 北野 毅様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

後藤 悟様 松本 恭一様

中田 晶子様

『『ほまれはここに我が南山』学生応援募金』へのご協力に感謝いたします。

伊藤 諒様 藤田 哲也様

沓名 成哲様 杉浦 敏行様

松岳 大樹様 松本 恭一様

匿名ご希望者 2名様

本学名誉教授 田中春美氏 がご逝去

本学名誉教授の田中春美氏(94歳)が、2025年5月12日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

本学では、学生の活動などをWebページ「NANZAN Today」、Instagram、Facebookでも紹介しています。ぜひご覧ください。

NANZAN Today



Instagram



Facebook



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp <https://www.nanzan-u.ac.jp/>